

*共に学ぶ児童生徒の組み合わせによって、出力する表を使い分けること。

通常の学級の児童、特別支援学級の知的障害児童が共に学ぶ場合には、以下の表を用いること。

第○時の学習

1 ねらい

～する活動を通して、～できるようにする。(通常の学級の児童生徒)

～する活動を通して、～できるようにする。(特別支援学校(学級)の児童生徒)

2 展開

時間	学習活動(通常の学級)	学習活動(特別支援学級)	教師の手立て	その他特性をもつ児童生徒への支援・配慮	評価規準(通常の学級)	評価規準(特別支援学級)
導入(○分)	【共通】					
展開1(○分)						
展開2(○分)						
終末(○分)	【共通】					

*○には、具体的な数値を示すこと。

*その他特性とは、例えば、LD、協働が苦手、発表が苦手、弱視 等のような特性のことである。

特別支援学校で1段階、2段階、3段階の児童が共に学ぶ場合には、以下の表を用いること。

第○時の学習

1 ねらい

～する活動を通して、～できるようにする。(3段階)

～する活動を通して、～できるようにする。(2段階)

～する活動を通して、～できるようにする。(1段階)

2 展開

時間	学習活動(3段階)	学習活動(2段階)	学習活動(1段階)	教師の手立て	その他特性をもつ児童生徒への支援・配慮	評価規準(3段階)	評価規準(2段階)	評価規準(1段階)
導入(○分)	【共通】							
展開1(○分)								
展開2								

(○ 分)								
終末 (○ 分)	【共通】							

*○には、具体的な数値を示すこと。

*その他特性とは、例えば、LD、協働が苦手、発表が苦手、弱視 等のような特性のことである。